

## 2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 2 月 9 日作成)

小委員会名	プログラミング小委員会	主 査 名：柳父行二 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築経済委員会	委員長名：眞嶋 二郎
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計条件の検討・設定の手法・理論の確立</li> <li>・次期研究テーマ具体化、HP 開設</li> </ul>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：なし	
	柳父行二(大阪ガス)、山田哲弥(清水建設)、柳澤要(千葉大学)、井上誠(福山大学)、大久保克則(オーク建築事務所)、岡田昭彦(NTT ファシリティーズ)、毛谷村英治(宮城大学)、五代正哉(多摩医療 PFI)、佐藤浩也(リンク&モチベーション)、嶋村仁志(千葉工大)、平野吉信(国土交通省)、藤本秀一(建築研究所)、増村昭二(日本設計)、溝上裕二、吉田一郎(ジョンソンコントロール)	
設置 WG (WG 名：目的)	設置なし	
2006 年度予算	50,000 円	ホームページ公開の有無：あり 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aij.or.jp/keizai/prg/">http://news-sv.aij.or.jp/keizai/prg/</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	8 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 建築プログラミング拡大公開研究会：「旭山動物園の建築プログラミング・プロセスを解き明かす」(2007.3/9<金>、旭川市・旭山動物園資料展示館) 参加者数 27 名 資料：「旭山動物園の建築プログラミング・プロセスを解き明かす」(参加者に対して pdf ファイル版を Web 配信)
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	プログラミングのゴールと達成プロセスについて事例ベースで研究している。ゴールは多重で、発注側がプログラミングプロセスを知らずに実施している場合もある。顕著な事例として旭山動物園を取り上げ、公開研究会を開催した。
委員会活動の問題点・課題	発注側の活動が個人情報保護法の関係で入手しがたく、事例所持者の委員会参加を要請する必要がある。
その他の活動状況・研究成果	プログラミング教育に関するアンケート結果を年次大会で報告した。 13016-17 大学における建築プログラミング教育の現状・その 1 ~ 2 (柳澤要・溝上裕二・山崎英幸)

\* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。